

TEAS 1種：2018版 認証取得に関わる理事長ステートメント

公立鳥取環境大学は、2019年6月25日付けで、鳥取県版環境管理システム TEAS I種を認証取得し、環境マネジメントシステム ISO14001からの移行を完了しました。

(経緯)

本学は2003年2月に環境マネジメントシステム ISO14001を認証取得し、2018年2月まで運用し、認証継続を行ってまいりました。しかし、ISO規格の全面見直し、リスク管理規格(予防処置重視)への変化によるISO14001の改訂に際し、本学が審査登録機関を務める鳥取県版環境管理システム TEASの有効な運用こそが本学の次なる責務だと考えました。

2018年4月、私が理事長に就任してから準備作業に入り、7月には新環境方針の発表、TEAS版環境管理システムの構築、マニュアル等の改訂を行いました。9月より新システムによる環境目標・計画策定、内部監査に向けての内部監査員の養成、内部監査の実施を順次行いました。

そして、今年3月には環境目標・計画の最終評価、マネジメントレビューで新システムでのPDCAサイクルが一巡し、認証取得審査受審の要件を満たすことが確認できました。

今回認証取得したTEAS I種はKES(京都環境マネジメントシステム・スタンダード)ステップ2と同じ規格であり、ISO14001をベースに、シンプルに取り組み易く構成されています。

本学は認証取得とその有効な運用により、今後とも、グローバルな視野で地球環境保全を深く認識しつつ、鳥取県が取り組む「とっとり環境イニシアティブ・プラン」に根差した環境保全に寄与する学府として、教育、研究、地域貢献を継続的に改善してまいります。